

校 報

# 滝呂

多治見市立滝呂小学校

たくましく豊かに伸びる滝呂の子ども  
～考えつくりだす子 はげましあう子 きたえる子～  
4本柱「まんぞく授業」「さきがけあいさつ」  
「ピカピカそうじ」「げんきな体と心」

<http://school.city.tajimi.lg.jp/takiro/>  
2025.8.27 第6号

9月、新たな気持ちでスタート！

校長 鈴木 雄詞

今年の夏も暑かったですね。夏休み期間中、屋外で過ごすことが多かった子は、真っ黒に日焼けしていました。そんな姿を見て思い出すことがあります…

遙か昔は、夏に子供たちが日焼けするのが当たり前で、むしろ、推奨されていたように思います。私は、昭和ひと桁生まれの父の通信簿を見たことがあります。そこには、甲・乙・丙の勉強の評価のほかに、担任の先生からの所見欄には、

「滋養をつけ、日光に当たるべし。」

と記述されていました。戦時中ですので、他に書きようがなかったのかもしれませんが。食料の乏しい時代、日光に当たると体に生気が宿ると思われていたのでしょうか。

私も、小学校時代に当時の校長先生から、

「夏はうんと日焼けをしなさい。そうすれば冬に風邪をひきませんから。」

と教えられました。学校行事として、夏休み明けにはだれが一番日に焼けたかを競う大会まで催されていました。あれから50年、なんとなく今でもその教えを守り続けている私は、夏はできるだけ屋外で過ごすようにしてきました。しかし、昨年あたりから、長い間外でじっとしていると体の反応がおかしくなってきました。

「日差しが強すぎる」のです。3000m級の山の頂上や、スキーのゲレンデレベルの日差しが、家の前にふりそそいでいるように感じます。これは体に良くないと思い、今年はいつもとより控えめに焼きました。

さて、来週からは9月です。子供たちも職員も新たな気持ちで、学校活動を再開していきたいと思えます。暦の上では秋に入っていきますが、まだまだ危険な暑さが続くようです。しばらくは熱中症指数計をにらみながら、皆の健康に気を配らねばと気合を入れ直しました

ご家庭においても、夏休みが明けてしばらくは、お子さんの体調管理や生活のリズムを整えること等をお願いいたします。



← 学校の様子はホームページからもご覧いただけます。

← 「滝呂地区夏休み魚つかみ大会」の様子